



2015年3月2日
会社名 株式会社 高島屋
代表者名 取締役社長 木本 茂
コード番号 8233
連絡先 広報・IR室長 加藤 ナナ
(大阪) 06-6631-1101
(東京) 03-3211-4111

2015年2月度 高島屋店頭売上速報

百貨店概況 (前年比 単位: %)

(株)高島屋単体 13店舗	+0.6
(株)高島屋単体 および国内百貨店子会社 17店舗	+0.1

※国内百貨店子会社は、関西地区の岡山高島屋・
岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋の4店舗です。

- 2月度の店頭売上は、春物など季節商品の好調やインバウンド
需要増もあり、衣料品・雑貨等のファッションアイテムや食料品を中心に
売上を伸ばし、消費増税前の駆け込み需要等により+3.9%
伸長した前年をさらに上回りました。
- 2013年2月度との比較では、+約4%の伸びとなりました。

店舗別売上高概況 (前年比 単位: %)

※和歌山店を除く既存店ベース。

関西地区

高島屋単体 5店舗	子会社 含む8店舗	大阪店		京都店		泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
		単独		単独					
△0.0	△1.5	+1.1	+0.9	+0.2	△0.5	△3.5	△6.5	△13.9	△2.9

※大阪店の売上高は堺店を、京都店の売上高は洛西店を含みます。
※岡山店の売上高は「タカシマヤフードメゾン 岡山店」を含みます。

関東地区

高島屋単体 8店舗	子会社 含む9店舗	日本橋店	横浜店		新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
			単独							
+0.9	+1.2	+1.6	△1.9	△1.8	+7.8	+2.3	△2.4	△5.3	△0.7	+10.0

※横浜店の売上高は港南台店と「タカシマヤフードメゾン 新横浜店」を含みます。
※柏店の売上高は「タカシマヤフードメゾン おおたかの森店」を含みます。

- 商品別売上では、紳士服（当社分類による17店舗ベース、以下同じ）・紳士雑貨・婦人服・婦人雑貨・食料品等が前年を上回りました。一方、消費増税前の駆け込み需要等により前年に大きく売上を伸ばした特選衣料雑貨・宝飾品・呉服・美術の高額品等が前年比マイナスとなりました。
- 店舗別売上では、外国人観光客の増加などの影響もあり、都心店の大阪店・京都店(単独)・日本橋店・新宿店が売上を伸ばしました。郊外店・地方店では、玉川店と高崎店が総じて堅調に推移し、前年比プラスとなりました。
- 免税販売額は、引き続き好調に売上を伸ばし、前年比3倍超となりました。
- 和歌山店は2014年8月31日をもって営業を終了いたしました。
- 関西地区8店舗で前年比△1.5%、関東地区9店舗で同+1.2%となり、17店舗合計で同+0.1%となりました。

【参考】2014年8月末に営業を終了した和歌山店を含む売上高(前年比 単位: %)

大阪店 △0.6 高島屋単体 13店舗 +0.3 百貨店 計 △0.2

以 上